

# 令和2年度 学校評価

当学院では毎年、職員・学生・保護者による学校評価を実施し、その結果を学校運営の改善に役立てるよう検討を行っています。令和2年度に実施した評価結果は以下のようになります。

## 評価項目と評価点

評価項目	I 理念・目的 人材育成	II 学校運営	III 教育活動	IV 学修成果	V 学生支援	VI 教育環境	VII 学生募集	VIII 財務	IX 法令等の 遵守	X 社会貢献・ 地域貢献
	3.3	3.2	3.2	3.4	3.3	3.1	3.3	3.7	3.6	3.1



### 学校運営評価について

項目・領域 10領域42項目

評価基準(4段階)

- 4 「良い」
- 3 「やや良い」
- 2 「やや不十分」
- 1 「不十分」

埼玉県立高等看護学院学校関係者評価委員会は、「令和2年度学校評価」の評価結果に基づき10の項目に関して学校関係者評価を令和3年2月4日に実施いたしました。

### 1 学校関係者評価委員

氏名	所属先
廣瀬 京子	東京医療学院大学
町田 早苗	埼玉医科大学 医学部 医学研究センター
山崎 みつ江	小川赤十字病院

### 2 学校関係者評価委員総評

#### I 教育理念(3.5)

埼玉県立高等看護学院の理念に基づき、質の高い教育が実践されている。毎年の自己点検・自己評価結果をもとに教職員全員で総括され当該年度の課題を明確にし、客観性の高い評価となっている。将来構想を見据えた在り方の検討も主管課とともに確認されており、県立としての存在意義も明確である。

#### II 学校運営(3.4)

県の施策の取り組みに基づき、問題なく管理運営されている。管理規定等、規程集として明文化され学生へも周知されている。組織体制についても組織図にて提示されており意思決定ルートも明確である。学生寮の学習環境の改善等、学生のニーズや保護者の意見も改善に反映されていることは評価できる。

#### III 教育活動(3.3)

厳しい人員の中でカリキュラムポリシーに則り、教育理念、教育目的、教育目標と授業内容の一貫性があり、コロナ禍において休講を余儀なくされた中においてもオンライン授業等、教育の質を担保する取り組みに努力の跡がみられている。全科目における授業評価も毎年行われており、質の高い教育実践がされていることがうかがえる。今後、内部質保証に向けた、新任教員の段階的な育成のための取り組み等が望まれる。

#### IV 学修成果(3.5)

学ぶ存在としての学習の習慣化ができるような取り組みや卒業までに到達すべき看護技術の確認などが行われており学習成果の可視化が着実に行われている。今後3年間の足跡としての成長が可視化されるような取り組みを期待する。

#### V 学生支援(3.3)

コロナ禍の中、経済的支援等についての状況提供など丁寧なタイムリーな支援が行われている。保護者アンケート、学校生活に関するアンケート調査との乖離が一部見られているので課題を明確にする必要がある。

#### VI 教育環境(3.2)

実習施設との協議による感染対策マニュアル作成が行われており、学生へのタイムリーな感染予防行動変容に向けたかかわりが行われている。今後、令和4年のカリキュラム改正に向けた計画的な備品購入や看護学教育の質の向上に向けた一層の教育環境整備を期待する。

#### VII 学生募集(3.3)

アドミッションポリシーに則り、入学生の学生募集がなされている。埼玉県ホームページ基本方針に基づき適正に情報公開されている。今後、18歳人口の大幅な減少に鑑み、志願者の増加に向けた取り組みは大きな課題である。

#### VIII 管理運営・財務(3.8)

県の財務規程に基づき予算執行されている。監査委員による監査や会計実地検査を受けており適正な執行管理が問題なく運営されている。

#### IX 法令等の遵守(3.6)

関係法令や設置基準等に基づき学校運営を行い、問題なく法令遵守されている。

#### X 社会貢献・地域貢献(3.2)

地域や実習施設においてボランティアとして例年行われてきたことがコロナ禍で中止となったことは残念であった。その中でも教職員が保健所や宿泊療養施設等へ応援派遣をされており教職員一丸となって取り組まれたことは評価できる。今後も地域に開かれた学校として貢献されることを期待する。